

令和5年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

受賞者紹介

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは？

緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が表彰を行うものです。令和5年は13の個人・団体が受賞されました。本誌では毎号、受賞者の方々をご紹介します。

大牟田生物愛好会（福岡県大牟田市）

同会は、昭和44年に結成されて以来、大牟田市と周辺地域において、動植物の観察会や生息調査を継続して実施してきました。活動の成果に学術的な同定・分類を加えることで、地域の植物種が減少していることを明らかにするなど、地域の自然環境保全に重要な役割を果たしています。また、地域の里山の整備・保全活動に取り組むほか、小中学生や一般市民を対象とした観察会等を開催し、自然環境の保全に対する意識の醸成に貢献しています。



▲ 地元小学生を対象とした自然観察会



▲ 定例観察会



▲ 定例観察会での植物調査

奈半利町立奈半利中学校（高知県奈半利町）

同校は、平成11年から、学校周辺の花壇や国道沿いで花苗の植栽や維持管理、清掃活動等を年間70日にわたり実施し、地域の緑化に貢献しています。また、地元自治体や道路管理者である国土交通省と協定を結び、国道沿いの環境整備に取り組むボランティアサポートプログラム「ふれあい海道」を展開し、地域住民と連携して美しい花で地域を訪れる人々を迎えています。



▲ 国道55号沿いの花植え作業



▲ 植樹帯での花壇の管理



▲ 実行委員会のメンバー

過去の受賞者については林野庁ウェブサイトをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html

